

- 問1 タイのチャオプラヤ川下流域やベトナムのメコン川デルタ地帯では、米の二期作が盛んに行われています。これらの地域で二期作を可能にしている、自然環境と社会基盤の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2024年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 年間を通じた高い気温、季節風による豊富な降水量、およびかんがい施設の整備 | 2. 標高の高さによる冷涼な気候、緩やかな傾斜地、および棚田の造成 | 3. 四季の変化に伴う明確な寒暖差、梅雨による長雨、および化学肥料の大量投入 | 4. 乾燥した気候、地下水路による水の確保、および大規模な農業機械の導入 |
|---|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問2 インドで最も多くの人々に信仰されている宗教の成立過程や特徴について述べた文として、正しいものはどれか。（2025年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 特定の開祖による教えが、シルクロードを通じて東アジアへと広がった。 | 2. 16世紀の大航海時代以降、ヨーロッパの植民地支配とともに急速に広まった。 | 3. アラビア半島で興ったのち、ムガル帝国の支配を通じてインド全域に普及した。 | 4. パラモン教を基盤として、インド各地の土着の信仰が融合して成立した。 |
|--------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
- 問3 モンゴルなどの乾燥した高原地帯で見られる、特定の場所に定住せず、家畜とともに草や水を求めて移動を繰り返す伝統的な牧畜の形態を何といいますか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 酪農 | 2. 放牧 | 3. 遊牧 | 4. 移牧 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 西アジアに位置し、ペルシャ湾の北側に広大な国土を持つ国について述べたものとして最も適切な名称はどれですか。なお、この国は全人口に占めるイスラム教徒の割合が極めて高いという特徴があります。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|--------|-----------|
| 1. エジプト | 2. ナイジェリア | 3. イラン | 4. インドネシア |
|---------|-----------|--------|-----------|
- 問5 東南アジア諸国の宗教分布に関する記述として、各国の統計的な特徴と背景を正しく説明しているものはどれか、次の中から選びなさい。（2022年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. マレーシアでは、かつてスペインの植民地であったことから、キリスト教信者が人口の約6割を占めている。 | 2. フィリピンでは、中近東との交易によってイスラム教が広まったため、イスラム教信者が人口の約9割を占めている。 | 3. 大陸部に位置するカンボジアでは、古くからの伝統を受け継ぎ、仏教信者が人口の9割以上を占めている。 | 4. マレーシアでは、インド文化の流入により、ヒンドゥー教を信仰する人々が人口の約6割を占めている。 |
|--|--|---|--|
- 問6 中国では1980年代以降、シェンチエン（深圳）などの沿海部に特定の地域を設け、外国の資本や技術を導入することで急速な経済成長を遂げました。このような地域を何と呼びますか。また、その後の中国国内の状況として適切な説明を選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 経済特区と呼ばれ、重点的に開発が進んだ沿海部と、開発が遅れた内陸部との間で経済格差が拡大した。 | 2. 経済特区と呼ばれ、内陸部の資源開発を優先した結果、内陸部の一人あたり国内総生産が沿海部を上回った。 | 3. 経済技術開発区と呼ばれ、沿海部から内陸部へ工場をすべて移転させたことで、内陸部の工業化が最も進んだ。 | 4. 自治区と呼ばれ、全土を均等に発展させる政策をとったため、地域による所得の差はほとんど見られない。 |
|--|--|---|---|
- 問7 1980年代初頭と2010年代前半のタイやマレーシアの輸出統計を比較すると、輸出総額が著しく増加していることがわかります。この期間に生じた輸出品目の構成の変化について述べたものとして、最も適切な記述はどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 米や天然ゴムなどの農産物から、自動車や電子機器などの工業製品へと中心が移った。 | 2. 原油や錫などの鉱産物の輸出に特化し、特定の天然資源への依存度がさらに高まった。 | 3. 経済発展に伴う国内需要の拡大により、輸出総額は1980年代と比較して大幅に減少した。 | 4. 輸出の中心が工業製品から農産物へと回帰し、食料輸出に依存するモノカルチャー経済となった。 |
|--|--|---|---|
- 問8 中国では、1人あたりの総生産が3000ドル未満にとどまる内陸部から、5000ドルから8000ドル以上に達する北京・上海・広州などの沿岸部へ向けて、年間数百万人規模の人口移動が見られます。このような大規模な移動が起こる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 沿岸部の農村における深刻な労働力不足を補うため、内陸部の都市住民が農業に従事するために移動している。 | 2. 沿岸部の過密状態を解消するため、政府が内陸部の農村へ労働力を分散させる政策を推し進めている。 | 3. 内陸部と沿岸部の間に大きな経済格差があり、現金収入を得るために農村から都市へと「出かせぎ」が行われている。 | 4. 内陸部の都市部における賃金が沿岸部を上回ったため、高度な技術を持つ労働者が一斉に内陸へ移動している。 |
|---|---|--|---|
- 問9 タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムなどの東南アジアの国々が、地域の経済成長や平和と安定を目的として1967年に結成した政府間の組織は何ですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------|-------------|------------------|---------------------|
| 1. 東南アジア諸国連合（ASEAN） | 2. 欧州連合（EU） | 3. 石油輸出国機構（OPEC） | 4. アジア太平洋経済協力（APEC） |
|---------------------|-------------|------------------|---------------------|
- 問10 1990年から2020年にかけての中国とインドの統計について、国民一人当たりの国内総生産（GDP）と人口増加の推移を比較した説明として、最も適切なものはどれか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. どちらの国も経済成長の速度は同じであったが、中国のみが2023年に人口世界第1位から転落した。 | 2. 中国は国民一人当たりの国内総生産が飛躍的に増加し、インドは中国を上回るペースで人口の増加割合が上昇した。 | 3. 中国は一人っ子政策の影響で人口が激減したが、インドは経済成長を優先したため人口増加が停滞した。 | 4. インドは国民一人当たりの国内総生産が減少したが、人口の増加によって国内総生産の総額が中国を上回った。 |
|--|---|--|---|
- 問11 南アジアに位置するインドにおいて、全人口の約8割という圧倒的多数の人々に信仰されている宗教の名称を答えなさい。この宗教には、聖なる川とされるガンジス川などで身を清める「沐浴（もくよく）」という独特の宗教儀礼を行う特徴があります。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|-------|-----------|
| 1. イスラム教 | 2. キリスト教 | 3. 仏教 | 4. ヒンドゥー教 |
|----------|----------|-------|-----------|
- 問12 東南アジアの島国であるインドネシアの統計資料において、年平均気温が約27.3℃、年降水量が約2672.3mmという高い数値が示されている場合、この地域の伝統的な生活様式について説明した文として正しいものを選択してください。（2023年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 乾燥した気候で水が貴重なため、屋根に傾斜をつけず、雨水を一箇所に集める工夫をしている。 | 2. 高温多湿な気候に適応するため、風通しを重視した高床式の住居が作られてきた。 | 3. 冷涼な気候が続くため、暖房効率を高めるために家全体の気密性を高めている。 | 4. 季節による気温の変化が激しいため、季節ごとに移動しながら生活するテント状の住居が一般的である。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間を通じた高い気温、季節風による豊富な降水量、およびかんがい施設の整備	二期作を行うためには、作物の生育に適した高い気温が1年を通じて維持されていることや、季節風（モンスーン）の影響による豊富な雨、そして乾季でも農業用水を確保するためのかんがい施設の整備といった条件が必要です。東南アジアの低地ではこれらの条件が揃っているため、高い生産性を実現しています。
問2	答え 4 バラモン教を基盤として、インド各地の土着の信仰が融合して成立した。	ヒンドゥー教にはキリスト教や仏教のような特定の開祖が存在しません。古代インドのバラモン教を土台に、長い年月をかけて各地の民間信仰を吸収しながら形作られました。そのため、多神教としての性質を持ち、地域ごとに多様な信仰形態が見られるのが特徴です。
問3	答え 3 遊牧	降水量が少なく、家畜の餌となる草が限られている乾燥地域では、一年中同じ場所で家畜を飼うことが困難です。そのため、家畜の群れを連れて広大な範囲を移動し、自然の資源を効率的に利用する「遊牧」が発達しました。アルプス山脈などで見られる、季節によって山の上と下の牧草地を使い分ける「移牧」や、柵の中で放し飼いにする「放牧」とは、移動の規模や目的が異なります。
問4	答え 3 イラン	西アジア（中東）のペルシャ湾北側に位置し、国民の多くがイスラム教徒である国はイランです。選択肢にあるエジプトはアフリカ大陸北東部、ナイジェリアはアフリカ西部、インドネシアは東南アジアに位置しています。これらの国々はいずれもイスラム教徒が多いことで知られていますが、地理的な位置関係によって区別する必要があります。
問5	答え 3 大陸部に位置するカンボジアでは、古くからの伝統を受け継ぎ、仏教信者が人口の9割以上を占めている。	タイやカンボジア、ミャンマーなど、東南アジアの大陸部に位置する国々では、古くから伝来した上座部仏教が深く根付いており、現在も人口の大部分を占めています。一方、マレーシアやインドネシアなどの島嶼（とうしょ）部では、交易を通じて広まったイスラム教が主要な宗教となっており、マレーシアではイスラム教徒が約6割に達します。スペインの影響を受けたフィリピンはキリスト教が主流であり、各国の歴史的背景と宗教分布は密接に関連しています。
問6	答え 1 経済特区と呼ばれ、重点的に開発が進んだ沿海部と、開発が遅れた内陸部との間で経済格差が拡大した。	中国は1980年代の「改革・開放」政策により、沿海部に経済特区を設けて外国資本を積極的に受け入れました。この政策は中国全体の経済を大きく成長させましたが、一方で、外資が集中し発展した沿海部と、農業が中心で開発が遅れた内陸部との間で、一人あたり国内総生産（GDP）などの経済格差が大きな社会問題となっています。
問7	答え 1 米や天然ゴムなどの農産物から、自動車や電子機器などの工業製品へと中心が移った。	タイやマレーシアは、1980年代以降、外国資本の積極的な受け入れや工業団地の整備を通じて急速な工業化を遂げました。かつては「世界の米びつ」と呼ばれたタイや、天然ゴム・錫の産地であったマレーシアですが、現在は自動車、家電、半導体などの製造・輸出が経済を支えています。このように、輸出品目が一次産品（農産物・鉱産物）から、より付加価値の高い工業製品へとシフトしたことで、輸出総額も劇的に増加しました。
問8	答え 3 内陸部と沿岸部の間に大きな経済格差があり、現金収入を得るために農村から都市へと「出かせぎ」が行われている。	中国では1970年代末からの改革開放政策により、外資を受け入れやすい沿岸部で先行して経済発展が進みました。その結果、経済発展が遅れ賃金水準の低い内陸部と、発展した沿岸部の間に著しい経済格差が生じました。内陸部の農村に住む人々は、より高い賃金や現金収入を求めて、沿岸部の都市へと移動して働く「出かせぎ」を活発に行っています。
問9	答え 1 東南アジア諸国連合（ASEAN）	タイやフィリピンといった東南アジアの国々が、域内の経済発展や社会・文化的発展、平和と安定を目指して協力している枠組みです。近年では経済的な結びつきをより強めるために、ASEAN経済共同体（AEC）を発足させるなどの取り組みを行っています。
問10	答え 2 中国は国民一人当たりの国内総生産が飛躍的に増加し、インドは中国を上回るペースで人口の増加割合が上昇した。	1990年から2020年の30年間で、中国は「世界の工場」としての地位を確立し、国民一人当たりの国内総生産（GDP）を大きく右肩上がりに伸ばしました。対してインドは、経済成長も進んでいるものの、特に人口増加の勢いが強く、2005年を基準とした人口の伸び率では中国を大きく上回る推移を見せています。この結果、2023年にインドが人口世界第1位となりました。
問11	答え 4 ヒンドゥー教	インドで最も多くの人々に信仰されているのはヒンドゥー教です。ヒンドゥー教徒は、ガンジス川などの聖なる川で沐浴を行うことで罪を洗い流し、心身を清めることができると信じています。また、牛を神聖な動物として崇め、食べないといった生活習慣もこの宗教に基づいています。
問12	答え 2 高温多湿な気候に適応するため、風通しを重視した高床式の住居が作られてきた。	年平均気温が27度を超え、降水量が非常に多いというデータは、その地域が熱帯の高温多雨な気候であることを示しています。このような地域では、暑さと湿気への対策が生活上の課題となります。インドネシアなどの伝統的な住居に見られる「高床式」は、風通しをよくして体感温度を下げるのと同時に、地面からの湿気が直接屋内に伝わるのを防ぐ合理的な仕組みです。選択肢にある「冷涼な気候」や「乾燥した気候」は、示された統計データとは矛盾します。